シラバス										
科目	名	保育実習 I (保育所) 担			当者	者名	河野 亮子			
学 科		幼児保育学科保育士・幼稚園教諭 2種コース			受業プ	方法 実習				
認定単位		3単位	開講期				授業時間数	108時間		
開講学年		1学年	必・選	必修			又 未 引 间	100% [H]		
授業目的		保育実習を円滑に行う為に必要な事柄を学ぶ。								
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		保育実習の全体的な枠組みを理解し、実習に臨む心構えが出来るとともに、保育実習に必要な知識・技術・実践力を身に付ける。								
授業概	既要	保育実習とは、保育者養成課程において習得しつつある教科の知識や技術を基盤として、これら総合的に関連付ける力と、保育実践にこれらの知識や技術を応用する力を養い、子ども達を取りく保育現実の理解を通して、保育の理論と実践の関係について習熟させるものである。								
			授業内容				授業内容	<u> </u>		
	1	保育所とは(役割・機能等)			19					
	2	発達過程について(0・1・2歳児)①			20					
	3	発達過程について(0・1・2歳児)②			21					
	4	発達過程について(3・4・5歳児)③								
	5	発達過程について(3・4・5歳児)④								
	6	レポート指導			24					
	7	保育技術 絵本の読み聞かせ			25					
授	8	保育技術 紙芝居の演じ方			26					
業計	9	保育技術 折り紙の折り方			27					
画表	10	保育技術 手遊び								
	11	保育所保育指針について①			29					
	12	保育所保育指針について②			30					
	13	発達を促す遊び・関わり・実践例を学ぶ①			31					
	14	発達を促す遊び・関わり・実践例を学ぶ②			32					
	15	実習日誌の記入方法			33					
	16	指導計画の記入方法	:		34					
	17	保育所実習事前準備	について		35					
	18	1回目~17回目の振り)返り・テスト		36					
		テスト		40%	学	翌FR卡注	成績表送付			
成績害	訓合	学習態度•出席	率	30%	学習FB方法		成績表送付			
/火//火口	111	レポート 30%			成績評価		出席率80%以上 S90~100点 A80~89 点 B79~70点 C69~60点 D59点以下 は不合格			
		合計 100%								
P/R/A/0	G割合	P≪課題解決型学習	≫ R≪実働実践型学	·習≫ A≪	主体的	参加型学習≫	G≪海外体感型学習	>		
講師プロ フィール		担当教員は保育園・幼稚園の勤務を経て、地元の子育て支援サークルの運営にも携わる経験を持ち、他の専門学校でも教鞭を取っている。								

	シラバス									
科目	名	こどもの指導法「リズム表現」			. 当 =	者名	西川 美岐			
学和	+	幼児保育学科 保育士・幼稚園教諭2種コース		授業方法		演習				
認定單	单位	1単位	開講期				授業時間数	36時間		
開講学	学年	1学年 必・選 必修					以未引的 妖			
授業目	目的	表現遊びを展開く。	するために必要な	な知識や	技術	を表現「領域	〕から見出し保育技	旨導法を修得してい		
授業 E (ラーニ アウトカ.	ング	表現に関する知識や保育技術の習得と実践を通した人間力の育成を目指す。								
授業棚	既要	領域「表現」の内容を主軸とし、子どもにとっての表現についてその意義、効果的な指導法、使用教材の知識などについての理論と実践を学ぶ								
			授業内容				授業内容	:		
	1	領域「表現」について いての説明	の基本的な考え方とりト	ミックにつ	19					
	2	ダルクローズ、オルフ	、創造的音楽つくりにつ	ついて	20					
	3	基礎リズム1歩く、止まる、回る、走るなどの身体表現				21				
	4	基礎リズム2 リズムパターンの理解とそれに伴う身体表現			22					
	5	基本動作1 基本動作の実践			23					
	6	基本動作2 基本動作の復習と幼児のイメージを豊かに する指導法			24					
	7	童謡やわらべうたについての多様な振り付けの実践1			25					
授	8	童謡やわらべ歌についての多様な振り付けの実践2			26					
業計	9	英語の子どもの歌の振り付けと実践			27					
画表	10	楽器の取り扱いとオリジナル楽器の製作			28					
	11	オノマトペについての身体表現の実践			29					
	12	ボディーパーカッションについての実践			30					
	13	ボディーパーカッションについての実践			31					
	14	表現する力を育てるための保育者の役割と援助についての模擬保育の実践			32					
	15	クリスマスソングに合え	わせて身体表現		33					
	16	絵本のストーリーを取 つ表現への意	り入れた身体表現の実	践幼児が持	34					
	17	幼児が持つ表現への 介と創作	意欲と喜びを育むリズ	ム遊びの紹	35					
	18	リズム遊びを用いた栲	模保育の実践と振り返	. 9	36					
		テスト		30パーセント	27.4	NACD + M	- 上/生主、子 / L			
比维生		学習態度•出席	率	50パーセント	字	習FB方法	成績表送付			
成績害	rV (E)	レポート		20パーセント	上 《主 去 J / II"		出席率80%以上を基本とする。グループ ワークの参加状況も合わせて判断する。合 格は60点以上。			
		合計		100%		找績評価				
P/R/A/0	G割合	P≪課題解決型学習	≫80 R≪実働実践型	見学習≫60	A≪∄	E体的参加型学	習≫80 G≪海外体感	型学習≫60		
講師プ		音大卒業後、海外の音大に留学をしりトミック指導の 日本でも、ピアノ指導、リトミック指導を行っている。				を取得している	0			

				シラ	バ	ス				
科目名 保育内容総論			担当者名			國分 啓子				
学 科	ŀ	幼児保育学科 保育士・幼稚園教諭2種コース		ł	授業方法		演習			
	認定単位 1単位 開講期		前期	前期		授業時間数	36時間			
開講学			必修							
授業目的		保育所や幼稚園、幼保連携型認定こども園における「保育」の全体的構造について理解し、各領域の付内容を総合的に捉える視点から、乳幼児期の発達過程、園での生活や遊び、保育計画、具体的援助等いて保育の流れを概観し、ある領域に偏って指導されるものではなく、相互に関連をもちながら総合的に開するものであることを保育実践と結びつけながら学んでいく。								
授業目 (ラーニ アウトカム	ング	「保育所保育指針」「幼稚園教育要領」及び「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」を理解する。「保育所保育指針」「幼稚園教育要領」及び「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」を理解したうえで実践への展開をおこなう。保育現場における保育者の役割に対する理解を深める。								
授業概	既要	理解する。「保育所保用いながら、これら園	育指針」「幼稚 役割、機能に 発達について	園教育要信 ついて理解 理解してい	領」「ダ する。 く。 グ	カ保連携型認 さらに領域の ループでのE	を定こども園教育・保 の捉え方を踏まえた」 なり組みを通して、総	結び付けて総合的に 育要領」をテキストとして こで、各領域におけるお 合的な指導の必要性に		
		授美					授業内容	ξ		
	1	保育内容総論とは ① 保	育内容総論を考え	える	19					
	2	保育内容総論とは ② 育終わりまでに育ってほしい		と幼児期の	20					
	3	保育内容の歴史的変遷 ① 明治・大正・昭和の 内容			21					
	4	保育内容の歴史的変遷 今後の課題	容の変遷と	22						
	5	改訂(定)された幼稚園教育 保連携型認定こども園教育 容の捉え ① 幼稚園教育		23						
	6	改訂(定)された幼稚園教 保連携型認定こども園教育 容の捉え方 ② 保育所保		24						
	7	改訂(定)された幼稚園教 保連携型認定こども園教育 容の捉え ③ 認定こども		25						
授業	8	レポート作成・指導 ①設題に対しての作成の言		26						
計画	9	乳幼児期にふさわしい生活 とっての園行事の意味と在	乳幼児に	27						
表	10	乳幼児期にふさわしい生活 滑な連携	保幼小の円	28						
	11	生きる力の基礎をはぐくむ ⁴ 通して行う保育	① 環境を	29						
	12	生きる力の基礎をはぐくむ。 よる総合的な保育	② 遊びに	30						
	13	全体的な計画の作成と指導 計画の作成	全体的な	31						
	14	全体的な計画の作成と指導の作成手順と配慮	算計画の作成 ②	指導計画	32					
	15	保育の評価と保育記録 (1 基づく評価) 子ども理解(幼	児理解)に	33					
	16	保育の評価と保育記録 (2 も理解)観察記録を書く	意味と子ど	34					
	17	保育内容の現代的課題に	ついて ① 子育	て支援	35					
	18	保育内容の現代的課題に 要とする子どもの保育	ついて ② 特別:	な配慮を必	36					
		テスト		40%	学	習FB方法	成績表送付			
成績害	引合	学習態度·出席率		30%	7	D1 D///IA				
乃人小貝百	1 🗆	レポート		30%				を は果などを総合的に到		
		合計 100):	人順計叫	ループワーク、試験結果などを総合的に評価する。合格は60点以上とする。			
P/R/A/C	3割合	P≪課題解決型学習≫60°	% R≪実働実践	桟型学習≫2	0%	A≪主体的参加	n型学習≫20% G≪海	再外体感型学習≫		
講師プロフィール			できることを望む	3。担当教員	員は都	内の保育園に	て園長を務め、現在も	持つ悩みを、ともに共有 保育園の相談役として活		

シラバス										
科目	名	保育実習 I (保育所)		担	当	者名	河野 亮子			
学 科		幼児保育学科大学コース		授業方法		実習				
認定単位		3単位	開講期				授業時間数	108時間		
開講学	学年	1学年	必・選	必修			12 /K · 1 III 9/	200.4104		
授業目的		保育実習を円滑に行う為に必要な事柄を学ぶ。								
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		保育実習の全体的な枠組みを理解し、実習に臨む心構えが出来るとともに、保育実習に必要な知識・技術・実践力を身に付ける。								
授業概	既要	保育実習とは、保育者養成課程において習得しつつある教科の知識や技術を基盤として、これらを総合的に関連付ける力と、保育実践にこれらの知識や技術を応用する力を養い、子ども達を取り巻く保育現実の理解を通して、保育の理論と実践の関係について習熟させるものである。								
			授業内容				授業内容	3		
	1	保育所とは(役割・機能等)			19					
	2	発達過程について(0)・1・2歳児)①		20					
	3	発達過程について(0・1・2歳児)②				21				
	4	発達過程について(3・4・5歳児)③								
	5	発達過程について(3・4・5歳児)④								
	6	レポート指導			24					
	7	保育技術 絵本の読み聞かせ			25					
授	8	保育技術 紙芝居の演じ方			26					
業計	9	保育技術 折り紙の折り方			27					
画表	10	保育技術 手遊び			28					
	11	保育所保育指針について①			29					
	12	保育所保育指針について②			30					
	13	発達を促す遊び・関わり・実践例を学ぶ①			31					
	14	発達を促す遊び・関本	つり・実践例を学ぶ②		32					
	15	実習日誌の記入方法			33					
	16	指導計画の記入方法	÷		34					
	17	保育所実習事前準備	について		35					
	18	1回目~17回目の振り)返り・テスト		36					
		テスト		40%	当	習FB方法	成績事業分			
成績害	削合	学習態度•出席	率	30%	子	日口力伝	成績表送付			
沙人川貝日	11 [レポート		30%	F	戈績評価		590~100点 A80~89 59~60点 D59点以下		
		合計 100%					点 B79~70点 C69~60点 D59点以下 は不合格			
P/R/A/0	G割合	P≪課題解決型学習	≫ R≪実働実践型学	·習≫ A≪	主体的	」参加型学習≫	G≪海外体感型学習	»		
講師プロ フィール		担当教員は保育園・幼稚園の勤務を経て、地元の子育て支援サークルの運営にも携わる経験を持ち、他の専門学校でも教鞭を取っている。								

シラバス										
科目名 保育内容総論		担	出当	者名	國分 啓子					
学 科	ŀ	幼児保育学科大学	ł	受業力	方法	演習				
認定單開講学			前期 必修			授業時間数	36時間			
授業目	的	内容を総合的に打 いて保育の流れる	足える視点から、乳:	幼児期の に偏って指	における「保育」の全体的構造について理解し、各領域の保育発達過程、園での生活や遊び、保育計画、具体的援助等につ 台導されるものではなく、相互に関連をもちながら総合的に展 がら学んでいく。					
授業目 (ラーニ) アウトカノ	ング	「保育所保育指針」「幼稚園教育要領」及び「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」を理解する。「保育所保育指針」「幼稚園教育要領」及び「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」を理解したうえで実践への展開をおこなう。保育現場における保育者の役割に対する理解を深める。								
授業概	要	保育内容総論では、領域別の授業で学んだ内容を実際の子どもの姿や保育場面に結び付けて総合的は理解する。「保育所保育指針」「幼稚園教育要領」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」をテキストとは用いながら、これらの園の役割、機能について理解する。さらに領域の捉え方を踏まえた上で、各領域によるねらいや内容とこどもの発達について理解していく。グループでの取り組みを通して、総合的な指導の必性についての理解を深め、保育指導計画を立案・展開し、学生による相互評価なども行う。								
			授業内容				授業内容	3		
	1	保育内容総論とは(① 保育内容総論を考え	さ る	19					
	2	終わりまでに育ってほ			20					
	3	保育内容の歴史的変 内容	遷 ① 明治・大正・昭	君和の保育	21					
	4	保育内容の歴史的変遷 ② 平成の保育内容の変遷と 今後の課題								
	5	改訂(定)された幼稚園教育要領・保育所保育指針・ 保連携型認定こども園教育・保育要領における保育内 容の捉え ① 幼稚園教育要領			23					
	6	改訂(定)された幼稚 保連携型認定こども 容の捉え方 ② 保育		24						
- 1	7	改訂(定)された幼稚 保連携型認定こども 容の捉え ③ 認定こ		25						
授業	8	レポート作成・指導 ①設題に対しての作		26						
計画	9	乳幼児期にふさわしい とっての園行事の意味		27						
表	10	乳幼児期にふさわしい 滑な連携	保幼小の円	28						
	11	生きる力の基礎をはぐくむ保育内容の展開 ① 環境 通して行う保育			29					
	12	生きる力の基礎をはぐくむ保育内容の展開 ② 遊びよる総合的な保育			30					
	13	全体的な計画の作成 計画の作成	と指導計画の作成 ①	全体的な	31					
	14	全体的な計画の作成 の作成手順と配慮	と指導計画の作成 ②	指導計画	32					
	15	保育の評価と保育記 基づく評価	録 ① 子ども理解(幼り	児理解)に	33					
	16	保育の評価と保育記	録 ② 観察記録を書く	意味と子ど	34					
	17	保育内容の現代的課	題について ① 子育~	て支援	35					
	18	保育内容の現代的課 要とする子どもの保育	!題について ② 特別が	な配慮を必	36					
		テスト		40%	学	習FB方法	成績表送付			
成績害	司合	学習態度·出席	率	30%	,		从侧衣心门			
/ / V/15C LI	, [レポート		30%	Б	戊績評価		を本とし、受講態度やグ語 結果などを総合的に評		
		合計 100%					価する。合格は60点以上とする。			
P/R/A/G割合 講師プロ フィール		P《課題解決型学習》60% R《実働実践型学習》20% A《主体的参加型学習》20% G《海外体感型学習》 講義形式を基本とする。保育者になる立場として、子育て家庭への支援方法や、多くの過程が持つ悩みを、ともに共有し、支援する精神を理解できることを望む。担当教員は都内の保育園にて園長を務め、現在も保育園の相談役として活躍している。保育園と保育者そして保護者の現状を熟知している講師が担当している。						持つ悩みを、ともに共有		

シラバス										
科目	名	こどもの指導法「	担	1.当 ==	者名	西川 美岐				
学科	+	幼児保育学科大学コース			受業プ	方法	演習			
認定單開講等		1単位 1学年	開 講 期 必・選	必修			授業時間数	36時間		
授業目		表現遊びを展開するために必要な知識やく。				を表現「領域	」から見出し保育技	旨導法を修得してい		
授業 E (ラーニ アウトカ	ング	表現に関する知識や保育技術の習得と実践を通した人間力の育成を目指す。								
授業棚	既要	領域「表現」の内容を主軸とし、子どもにとっての表現についてその意義、効果的な指導法、使用教材の知識などについての理論と実践を学ぶ								
			授業内容				授業内容			
	1	領域「表現」について いての説明	の基本的な考え方とリト	ミックにつ	19					
	2	ダルクローズ、オルフ、創造的音楽つくりについて			20					
	3	基礎リズム1歩く、止まる、回る、走るなどの身体表現				21				
	4	基礎リズム2 リズムパターンの理解とそれに伴う身体表現								
	5	基本動作1 基本動作の実践			23					
	6	基本動作2 基本動作の復習と幼児のイメージを豊かに する指導法			24					
	7	童謡やわらべうたについての多様な振り付けの実践1			25					
授業	8	童謡やわらべ歌についての多様な振り付けの実践2			26					
計画	9	英語の子どもの歌の振り付けと実践			27					
表	10	楽器の取り扱いとオリジナル楽器の製作			28					
	11	オノマトペについての身体表現の実践			29					
	12	ボディーパーカッションについての実践			30					
	13		ボディーパーカッションについての実践							
	14		表現する力を育てるための保育者の役割と援助につい ての模擬保育の実践							
		クリスマスソングに合え		nb/ Im >a/'	33					
	16	つ表現への意	り入れた身体表現の実		34					
	17	幼児が持つ表現への 介と創作	意欲と喜びを育むリズム	飲と喜びを育むリズム遊びの紹						
	18	リズム遊びを用いた模	擬保育の実践と振り返	.b	36					
		テスト		30パーセント	学	習FB方法	成績表送付			
成績害	削合	学習態度・出席	举	50パーセント						
		レポート 20パーセント △ ⇒ I. 1000v			成績評価		出席率80%以上を基本とする。グループ ワークの参加状況も合わせて判断する。合			
D/D/A/4	adal A	合計	00 D// CHE CHENT	100%	1 " "	- (4-44- 4 5-4-4-10)	格は60点以上。	FII 24 751 % CO		
B/R/A/(講師: フィー	プロ	P《課題解決型学習》80 R《実働実践型学習》60 音大卒業後、海外の音大に留学をしりトミック指導の日本でも、ピアノ指導、リトミック指導を行っている。					習≫80 G≪海外体感 ? 。	ビナ·肖∥00		